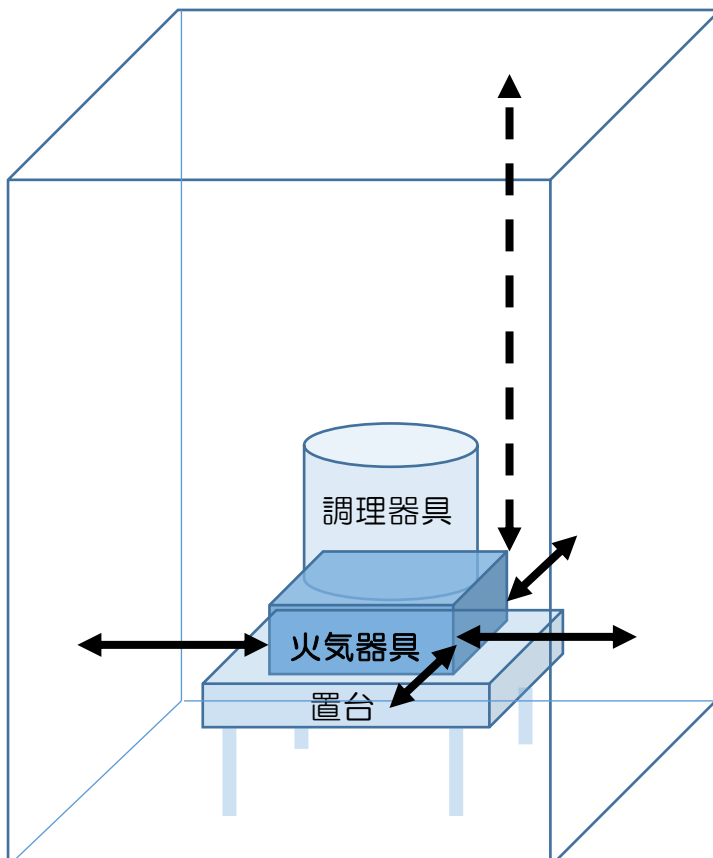


～ 大学祭で火気器具を取り扱う皆さんへ ～

《火気器具を使用する際の注意点》

- 火気器具（コンロ、BBQグリル、七輪等で電気調理器具を含む）の周りには、上方 1m、周囲 30cmの距離に可燃物（木板、段ボールなど）を置かない。
- 風等によりテントが火気器具・調理器具に近付かない措置を講ずる。（風等により可燃物との距離が縮まる恐れがある場合は、金属以外の不燃ボードを防熱板として使用する。）
- 火気器具は、水平な場所にしっかり固定された不燃性の置台の上で使用する。置台が可燃性の場合は不燃ボードを敷くこと。汚れるから等の理由で火気器具の下に、可燃物（木板、段ボールなど）を敷くことは厳禁！！
- カセットボンベを使用する場合は、ボンベが高温にならないようにする。（ボンベの位置まで鍋が被る、カセットコンロを並べて使用するのは禁止。）
- 調理中は、その場を離れない。
- 消火器の設置場所・使用方法を確認する。

【火気器具・調理器具と可燃物との距離】



← → : 30 cm

← - - → : 1m

※ テントが風等で火気器具や調理器具に近付き、左図の距離が取れない可能性がある場合は、不燃ボード等で囲いを作るか、横に机などを増やしテントが近付かないようにする。

《ガソリン・発電機を取り扱う際の注意点》

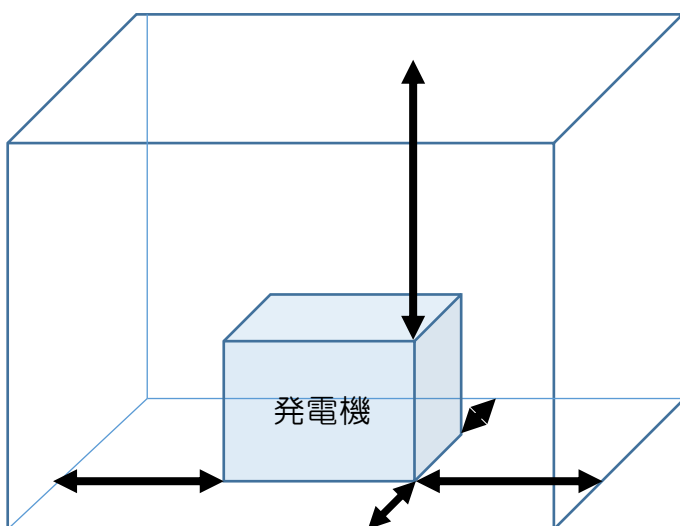
＜発電機＞

- 燃料を給油するときは必ず発電機を停止させ、火気のない場所で行う。
- 周りに 1mの空地を作る。 空地に物品及び燃料等は置かない。
- 平坦で安定した場所に置く。
- 可燃物（段ボール等）の上に置かない。
- テント内などの換気の悪い場所では使用しない。

＜ガソリン＞

- 専用の容器に入れ、高温になる場所（直射日光が当たるところや火気器具の近く）に置かない。
- 必ず目の届くところにおく。
- 容器のふたは、必ず閉める。
- 容器のふたを開ける前にエア抜きをすること。（ふたを開ける前にエア抜きねじを開放し、容器内の圧力を下げること。）

【発電機と可燃物等との距離】



↔ : 1m

※ 発電機は高温になる場所に置かない。左図のような 1m の空地を作り、空地には物品を置かない。燃料は発電機付近には置かず、高温になる場所をさけ、目の届くところで管理する。

《投光器を取り扱う際の注意点》

- 投光器に可燃物が接しないようにする。